金属性状評価装置　　**資料 No. 1**

・目的

海外の鉄鋼メーカーとの価格競争によるコストダウンの結果、ミルシート、JIS 規格要件は満たすものの実態強度が低下した鉄鋼素材が流通するようになり、事故につながるケースが増えつつある。自衛のための鋼材評価装置の開発ならびに鋼材評価法を確立し、JIS 規格制定を目指す。

・基本方針

① 歯車工業会の事業としてすすめる。5 年計画のプロジェクトであり、中途での他団体参画も認める。ただ初年度は我々の本来の目的を達成するために、歯車工業会単独で事業をスタートする。

② 目的は会員各社における製品の品質保証であり、そのために「金属性状評価装置開発」、「金属性状評価法」を確立し、まず歯車鋼材の JGMA 規格作成を目指す。

③ 歯車工業会として「金属性状評価プロジェクトチーム」を組織、応用科学研究所の技術開発補助、監査を行う。また対外 PR を行い、会員企業・他団体より開発資金を募る。

・経緯

2016 年 3 月 11 日	2016 年度経済産業省補助金（2 年計画）で活動する
	（経済産業省 2/3、自己資金 1/3）
	自己資金として一口 50 万の募集を募る(34 口の協賛)
2016 年 11 月 11 日	経済産業省の採択結果　受理されたことを報告した
	高度多点硬度評価装置の試験機開発・製作した
2017 年 9 月 29 日	2018 年度 JKA 補助金(1 年毎 3 年計画)で活動することを審議した
	（JKA1/2、自己資金 1/2）
	試験機の使い勝手向上のための教育プログラムを実施した
2018 年 4 月 20 日	JKA 補助金採択決定通知を受け活動開始
2018 年 7 月 6 日	会員向け鋼材サンプル提供の依頼をした
2018 年 12 月 7 日	超多点自動硬度測定装置実用プロトタイプ製作を行った
	モニタリング、新ＪＩＳ規格制定のための委員会開催した
2019 年 3 月 19 日	ＪＧＭＡ規格制定「歯車用鋼材の硬さ分布の多点測定法とその評価」
訂正 ~~2019 年 4 月 19 日~~	~~鋼材サービスと新ＪＩＳ規格原案の作成をした~~
2020 年 3 月 10 日	成果報告会開催を実施した
2020 年 5 月 29 日	2020 年度は JKA 補助事業の申請を辞退した
	有償にて応用研－歯工会の共同作業(事業)で測定する案内を発信した
2022 年 12 月 9 日	「多点高速硬度評価」売却による資産除却についての提案
2023 年 4 月 21 日	金属性状評価装置の売却を報告